

令和6年度松本市若者チャレンジ応援事業補助金 事業報告

ジュウシン ～中信をぶち上げる「まちの学園祭」～ 活動報告

まちの学園祭実行委員会代表 手塚 琉盛

自分らしく生きる
学生を増やしたい



3つの学生レイヤー

①モヤモヤしている学生

課題

- ・大学入ったら何か変わると思っていた。
- ・「やりたいこと」「好きなこと」がない。
- ・「課外活動＝特別な人がやるもの」と感じ、挑戦を遠いものを感じている。

目的

- ・まずはイベントを通じて、同世代の挑戦者の存在を知る機会をつくる。
- ・「面白そう」「楽しそう」と思えるような場を提供し、関心を持ってもらう。
- ・様々な人との出会いの中から「視野」を広げる。

② 一歩踏み出せていない学生

課題

- ・「やってみたい」と思うことがあっても、何から始めればいいかわからない。
- ・挑戦する場や仲間が見つからず、最初の一步を踏み出せない。
- ・「失敗したらどうしよう」という不安や、周囲の理解が得られないことへの懸念がある。

目的

- ・「まずはやってみる」経験ができる場を提供し、一歩を踏み出すハードルを下げる。
- ・挑戦している同世代や仲間とつながり、背中を押せる環境をつくる。
- ・小さな成功体験を積むことで、自信を持ち、次のステップにつなげる。

③すでに挑戦している学生

課題

- ・自分の活動を広げるための仲間や支援が足りない。
- ・学生団体同士のつながりが希薄で、ノウハウやリソースを共有できていない。
- ・活動の発信や継続するためのメンバー集めなど広報面での課題。

目的

- ・学生同士がつながり、互いに刺激を受けながら新たな挑戦を生み出せる環境をつくる。
- ・企業や自治体との協力を促し、支援を受けられる仕組みを整える。
- ・挑戦する学生のストーリーを発信し、「自分にもできる」と思える文化を広げる。

**学校の枠を超え
地域に開けた「出会い」と「挑戦の機会」を創りたい。**

**「ジュウシン」は
どんな学生でも活躍できる。
学生が「視野」を広げ、
自分の道を切り開くための「一歩」を
踏み出せるそんな場所です。**

実施内容



- イベント名
ジュウシン～中信をぶち上げる「まちの学園祭」～
- 日時
令和6年8月10日(土) 2部制での実施
- 場所
サザンガク
松本城大手門柵形跡広場

- 参加団体 (全17団体)
食革命／高校生
寝林／高校生
深志×松本工業(仮)／高校生
上高地線活性化プロジェクト／高校生
ナッジ理論による運動不足解消／高校生
塩尻志学館高等学校ワインカステラ／高校生・社会人
まつぼっくり／大学生
Rize／大学生
古着屋嬰／大学生
crochet.studio／専門学生
花びらアクセサリー Natural for...／社会人
かゆい ゆいか／社会人
きこゆ・足ツボ／社会人
Food Truck SORA／社会人(キッチンカー)
コッペパン専門店 Rai's-18／社会人(テント)
JUICESTANDyamayama／社会人(キッチンカー)
カップケーキ専門店CUP／社会人(キッチンカー)

運営形態



まちの学園祭実行委員会（学生有志団体）

メンバー

松本大学（4人）・信州大学（2人）

長野市の専門学生（1人）

北海道の大学生（1人）

飯田の高校生（1人）通信制高校（1人）

計10人で運営

休学、浪人、退学のち再入学
多種多様なメンバーで運営

事業の様子

1部と2部の間には
松本大学教授と協力し
街歩きを実施！

第1部



マルシェ出店

学生のチャレンジショップを中心に様々な団体が出店。商品の販売のみならず自身の活動をPRするための宣伝の出店もありました。中には初出店の団体も。学生のみならず社会人の出店も行うことで、世代を超えた越境体験をデザイン。

第1部



トークセッション

「一歩踏み出す」をテーマに、フリーランスデザイナーのかゆいゆいかさんが登壇。学生時代の挫折や社会人になってからの苦悩、そこからどう行動し、一歩を踏み出したのか。成功だけでなく、リアルな経験を語っていただきました。

第2部



学生と地域のためのGOHAN会

大学生、高校生、社会人など、さまざまな世代が肩書きを超えてフランクに交流する場となった。リラックスした雰囲気の中で会話が弾み、新たなつながりやコラボレーションが生まれる瞬間も。ここからどんな挑戦が生まれるのか、今後が楽しみである。



効果

- ・学生同士や社会人、他団体とのつながりが生まれ、コラボが実現。
- ・挑戦したいが一步踏み出せなかった学生が、実際に活躍する同世代を見て「何かやってみたい」という声が聞けた。
- ・運営に携わり行動を起こしたことをきっかけに、地域留学やマイプロジェクトに挑戦したり、様々な場に積極的に参加する学生が増えた。
- ・信大×松大の枠を超え、様々な学生や地域の人々ともつながるきっかけを創出。

課題

- ① 挑戦の裾野を広げる
 - ・挑戦を考えていない学生にも興味を持ってもらい、巻き込む仕組みが必要。
- ② 持続可能な仕組みづくり
 - ・学生主体のため、運営メンバーの卒業後に引き継げる体制を整える必要がある。
- ③ 地域・企業との連携を強化
 - ・学生の挑戦を支援する大人や企業とのつながりを深め、協力関係を築く。
 - ・企業や自治体とのコラボを増やし、活動の幅を広げる。
- ④ 資金やリソースの確保
 - ・活動を継続するための資金・会場・運営リソースを安定的に確保する。
 - ・運営メンバーの自己負担を軽減する仕組みが必要。

今後の展望

①挑戦の裾野を広げる

- 新メンバーの勧誘やイベントの広報を強化し、より多くの学生に出会いと挑戦の機会を提供する。

②持続可能な運営体制の構築

- 共同代表制の導入など、卒業後もスムーズに引き継げる仕組みを整える。

③地域・企業との連携強化

- 出店やコラボ企画を通じて、ジュウシンと地域・企業が関わる機会を増やす。

④資金の確保

- ビジネスモデルの策定、補助金申請、企業協賛の獲得など、持続可能な資金調達を行う。

⑤新たな挑戦の創出

- 他地域との連携を進め、中信だけでなく長野県に挑戦の場を広げる。

**ジュウシンを通じた出会いと挑戦の機会を増やし、
「自分らしく生きる」学生を一人でも多く増やしていく。**

共に夢を実現させてくれる方

- ・ 協賛企業を募集しています。**
- ・ 新入生にPRするイベントや場所教えてください！**
- ・ この後もジュウシンを楽しんでください**

ジュウシ

中信を「ぶち上げる」
「まちの学園祭」

学生も社会人も集まれ！
3月23日(日)
【時間】10:30~20:00
【会場】松本市立博物館

重くんです
ぜひ来てしん

◇ブース出店
第1部
【松本市コラボ企画】
◆若者チャレンジ
カンファレンス

◇トークセッション
OPEN 10:30
CLOSE 16:00
入場無料

◇学生と地域のご飯会
第2部
社会人 2,000円
学生 1,000円
高校生以下 無料
受付開始 17:30
OPEN 18:00
CLOSE 20:00
定員30名

最新情報は
こちらから！

ブース出店 トークセッション カンファレンス ご飯会

長野県で活動する・活動したい若者や社会人が勢揃い！
キッチンカーやハンドメイド販売、1日だけの中信地区の学園祭。

主催：「まちの学園祭」実行委員会 (mail: jyushin.fes@gmail.com) 後援：松本市
協力：松本市教育委員会 松本市立博物館 指定管理者(株) フクシ・エンタープライズ

学生活動をもっと活発に。 学生が求める居場所とは？

地域で活動する学生が増える中、
今注目されているのが、学校でも家庭でもない
「サードプレイス」(第3の居場所)です。
このイベントでは、松本市総合計画をもとに、
行政の担当者を交えた対話やワークショップを
通じて、若者にとって必要な居場所について考
えます。
学生や若者の挑戦を応援したい社会人の方の
参加お待ちしております！



若者が活躍できる 居場所を一緒に 考えよう！

in サザンガク
3/15 (sat)
14:00-17:30



13:30 受付開始
14:00 イベント開始 (ワークショップ/対話)
16:00 イベント終了
16:15 交流会

会場：サザンガク
(〒390-0874 長野県松本市大手3丁目3-9
NTT東日本松本大名町ビル 1F)

申し込みはこちらから



共催：「まちの学園祭」実行委員会 (ジュウシン)・サザンガク 後援：松本市
mail: tr1119vallou@gmail.com (担当：手塚)